

栽培技術や品質の向上、消費拡大に向け

『イチゴの品評会』を開きます！

【2月13日（火）／JAあいち中央総合センターにて】

JAあいち中央いちご部会（部会長：鈴木平兵衛）は2月13日に、安城市赤松町のJA総合センターで、「イチゴの品評会」を開きます。今年度は10点の出品を見込んでおり、11人の部会員が最高賞である安城市長賞を目指します。同部会では「紅ほっぺ」と「ゆめのか」の2品種を中心に栽培しており、部会員が2パック詰め段ボール箱に入れて出品します。

品評会は、栽培技術や品質の向上、ブランド化の推進、消費拡大を目的に、毎年この時期に開いています。愛知県西三河農林水産事務所農業改良普及課や安城市、JAあいち経済連、市場など、イチゴの生産や流通の関係者が玉ぞろいなどの外観、肉質、食味、糖度などを審査します。

今作は7～9月の育苗期に記録的な高温で難しい栽培環境が続き、例年より5日遅い出荷開始となりました。管理作業を徹底した甲斐あって、出荷されているイチゴは、糖度や酸味のバランスが良く、品質は良好です。

出品されたイチゴの一部は、品評会後に安城市社会福祉協議会を通じて、市内の福祉施設に寄付します。



イチゴの外観を確認する審査員ら



先回出品された艶やかな紅色のイチゴ

JAあいち中央いちご部会

部会員：11人
 栽培面積：約1.8ヘクタール
 出荷時期：11月下旬～5月下旬
 最盛期：12月中下旬
 総出荷量：約55トン（約22万パック）予定
 流通先：中京市場を通じ、大手量販店で販売

イチゴの品評会

■日時：2024年2月13日（火）／午前9時30分～（概ね1時間）

■場所：JAあいち中央総合センター管理棟3階研修室
 （安城市赤松町浄善50）

※当日は、審査の様子や部会長へのインタビューを撮影いただけます。審査結果の発表は午前11時00分頃になります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。
 JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：高瀬、杉浦、山村）
 TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp